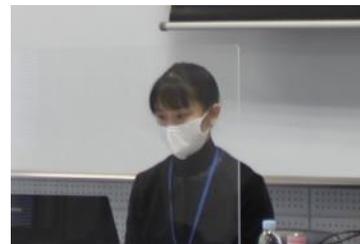


# 令和3年度 多様な新ニーズに対応する 「がん専門医療人材（がんプロフェSSIONAL）」養成プラン インテンシブコースセミナー

日 時: 2021年12月23日(木) 10:00~14:00  
 場 所: 兵庫県立大学 明石看護キャンパス(演習室 406)  
 テーマ: 「特定の看護技術の応用: リンパ浮腫に対する複合的支援の原理と  
 実際、演習」  
 講 師: 森川 みはる先生(NPO 任意団体 プチボヌール(小さな幸せ) 代表)  
 受講者: 4名(内学外参加3名)  
 主 催: 兵庫県立大学看護学研究科 多様な新ニーズに対応する「がん専門  
 医療人材(がんプロフェSSIONAL)」養成プラン代表 川崎 優子



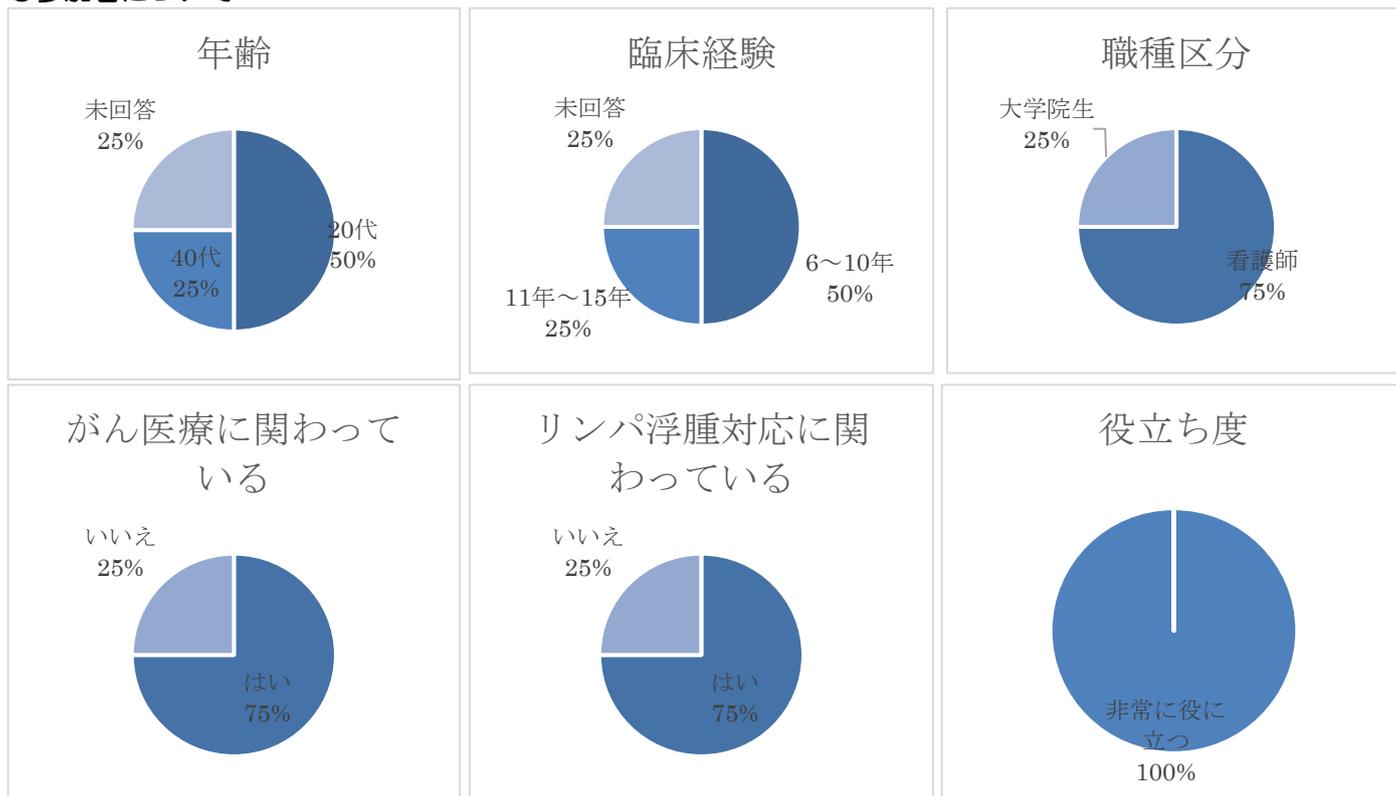
## <概要>

NPO 任意団体 プチボヌール(小さな幸せ)代表 森川 みはる先生から、「特定の看護技術の応用: リンパ浮腫に対する複合的支援の原理と実際、演習」として、森川先生ご自身の臨床でのご経験と支援の研究を交えて、専門看護師として必要な症状緩和に対する基本的知識(リンパ浮腫の仕組み、がん疾患や治療に関連したリンパ浮腫、アセスメント、予防指導、治療・ケア、リンパドレナージ等)についてお話をいただきました。その後、臨床で実践可能な具体的な支援(スキンケア、リンパドレナージ、圧迫療法など)について演習を行いました。中でも、弾性包帯を使った演習では、均一に圧迫していく難しさ、締め付けの不快感などを改めて認識することができました。先生の臨床での体験のお話も交え、どのようにリンパ浮腫の対応を考えていけばよいかのヒントをたくさんいただくことのできた時間となりました。

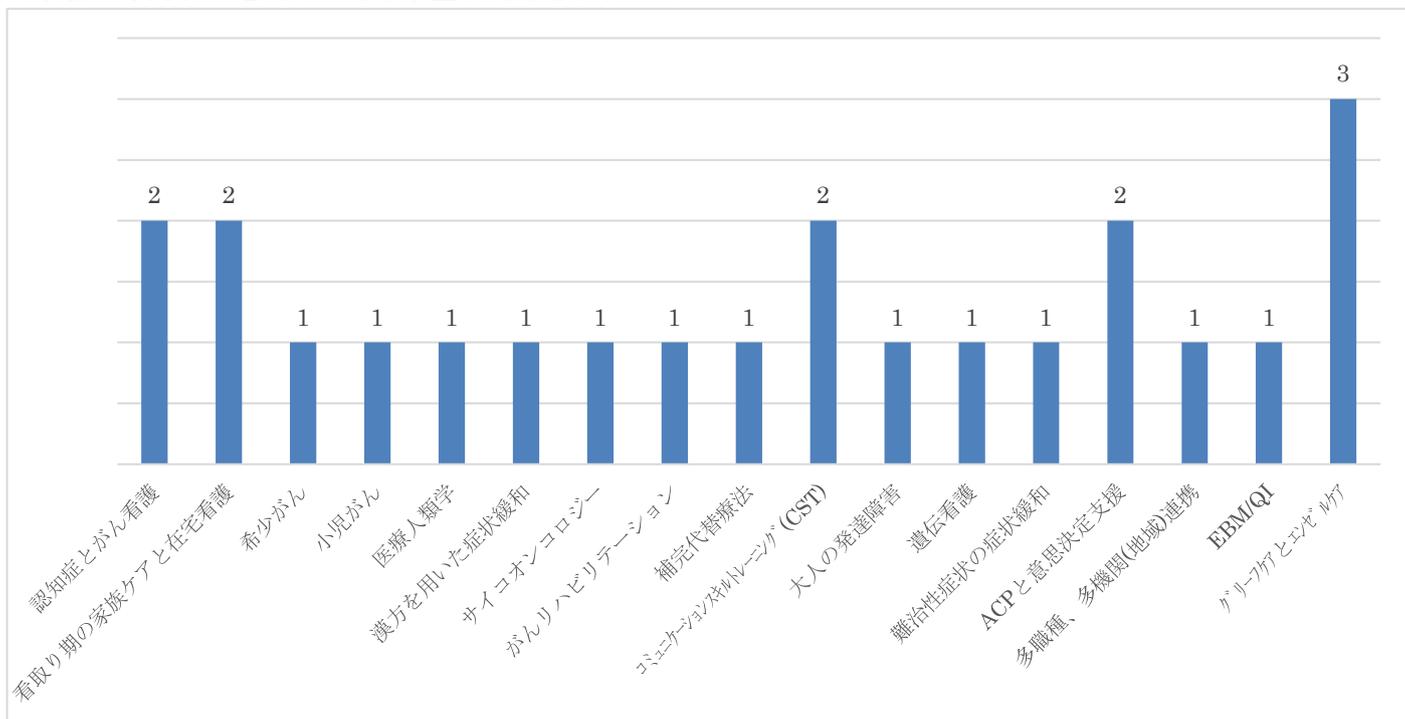


## <アンケート結果>

### ●参加者について



▼今後、がんプロセミナーで取り上げてほしいテーマ



●参加者からのコメントより

▼今回のセミナーで、あなたが感じたこと、印象に残ったことがあれば自由にお書きください。

- ・リンパ浮腫の指導内容
- ・講義が有意義でした。
- ・リンパ浮腫は命に直結しなくても QOL には大きく影響すると思うので、看護師の介入意義も大きくなると思いました。
- ・実際に弾性包帯を巻いてみて、不快感などを感じた

▼リンパ浮腫に対する支援において、看護師として今最も強く感じている課題をお書きください。

- ・リンパ浮腫への対応方法
- ・その人にとってリンパ浮腫で何が効果的なのか考える力をもつこと。
- ・リンパドレナージや弾性包帯の巻き方など学んだことを正しく実施できるようにしたいです。
- ・看護師としてきちんと仕事して行こうと思いました。

▼ご意見・ご感想

- ・リンパ浮腫について大変勉強になりました。実際に包帯を巻いたり、ドレナージの手技をすることでより学びが深まり、楽しく聴講しました。ありがとうございました。